

障害者差別解消推進フォーラム来場者アンケート結果報告

I、調査実施概要

- 1、実施期日:平成28年1月24日(日)「障害者差別解消推進フォーラム」当日
- 2、実施方法:アンケート用紙を配布のうえ、記入後回収
- 3、回収個数: 91枚
- 4、来場者数: 183名
- 5、回収率: 50%

II、アンケート集計結果

| 票数 | | 88 | |
|----------------|-----------|--------|------|
| 性別 | 男性 | 36 | 40% |
| | 女性 | 53 | 58% |
| | 不明 | 2 | 2% |
| | 計 | 91 | 100% |
| 年齢 | 20代 | 1 | 1% |
| | 30代 | 3 | 3% |
| | 40代 | 19 | 21% |
| | 50代 | 18 | 21% |
| | 60代 | 34 | 36% |
| | 70代 | 10 | 11% |
| | 80代 | 2 | 2% |
| | 不明 | 4 | 5% |
| 計 | 91 | 100% | |
| Q1住まい | 緑区 | 13 | 14% |
| | 中央区 | 39 | 44% |
| | 南区 | 34 | 37% |
| | 町田市 | 2 | 2% |
| | 座間市 | 2 | 2% |
| | 不明 | 1 | 1% |
| 計 | 91 | 100% | |
| Q2所属(一部複数回答) | 事業者 | 2 | 2% |
| | 医療関係 | 5 | 6% |
| | 福祉事業者 | 18 | 20% |
| | ボランティア | 11 | 13% |
| | 教育関係 | 3 | 3% |
| | 行政関係 | 6 | 7% |
| | 障害者・家族 | 28 | 32% |
| | その他 | 18 | 20% |
| | 不明 | 2 | 2% |
| 計 | 93 | 106% | |
| Q3何で知ったか(複数回答) | 広報さがみはら | 14 | 16% |
| | チラシ | 34 | 39% |
| | 新聞記事 | 2 | 2% |
| | 駅貼りポスター | 2 | 2% |
| | その他ポスター | 3 | 3% |
| | 「わ」 | 16 | 18% |
| | その他 | 41 | 47% |
| | 不明 | 3 | 3% |
| | 計 | 115 | 130% |
| | Q4基調講演 | 大変良かった | 47 |
| 良かった | | 39 | 43% |
| 普通 | | 2 | 2% |
| あまり良くなかった | | 0 | |
| 良くなかった | | 0 | |
| 不明 | | 3 | 4% |
| 計 | 91 | 100% | |
| Q5パネルディスカッション | 大変良かった | 42 | 46% |
| | 良かった | 38 | 42% |
| | 普通 | 5 | 5% |
| | あまり良くなかった | 0 | |
| | 良くなかった | 0 | |
| 不明 | 6 | 7% | |
| 計 | 91 | 100% | |
| Q6記述式意見 | 別紙のとおり | | |

Q2 所属 事業者の職種

1) 事業者の職種

| | |
|---------------|---|
| ア、児童発達障害放課後施設 | 1 |
| イ、児童発達支援通所 | 1 |
| 計 | 2 |

2) その他の所属(記載あるもの)

| | |
|--------------|----|
| ア、手話通訳・要約筆記者 | 4 |
| イ、市議会議員 | 2 |
| ウ、民生委員 | 5 |
| 計 | 11 |

Q3 何で知ったか

1) チラシの入手先(記載あるもの)

| | |
|-----------------|----|
| ア、加盟団体 | 7 |
| イ、職場 | 2 |
| ウ、公民館 | 2 |
| エ、民生委員会 | 2 |
| オ、ほかほかふれふれフェスタ | 2 |
| カ、学校 | 1 |
| キ、市議会 | 1 |
| ク、相模原市ギャラリーセンター | 1 |
| ケ、サークル関係者 | 1 |
| 計 | 19 |

2) 「何で知ったか」のその他((記載あるもの)

| | |
|--------------|----|
| ア、障害政策課 | 13 |
| イ、民生委員会会議 | 6 |
| ウ、加盟団体 | 4 |
| エ、ボランティアセンター | 2 |
| オ、シヨツパー | 2 |
| カ、所内回覧 | 1 |
| キ、ネット | 1 |
| ク、同僚 | 1 |
| ケ、要約筆記サークル | 1 |
| 計 | 31 |

(注)「ア、障害政策課」は手話通訳・要約筆記研修会の連絡並びに福祉相談員の研修会の連絡によるもの。

障害者差別解消推進フォーラム来場者アンケート結果報告別紙
「Q6 記述式意見」

【基調講演について】

- ①野澤さんのお話しが聞きやすかった。(50歳代女性障がい者・家族会)
- ②野澤氏の講演会、以前も参加し、又機会があればお聞きしたいと思っておりました。今回、チャンスがあり参加いたしました。お話が大変幅広く、広範囲にわたりたくさんの事例を交えてお話しが進みますのであつという間に終わってしまいます。もっともお話しを伺いたいと思います。又、野澤氏の講演を企画して頂きたいと思います。(60歳代女性障がい者・家族会)
- ③野澤さんの話を初めて聞き、大変分かりやすく、もっと聞きたいと思いました。
(40歳台女性行政関係者)
- ④野澤先生のお話がとてもわかりやすかったがもっと詳しく聞かせていただきたいかった。
(30歳代女性医療関係・行政関係者)
- ⑤基調講演で資料のどこを中心なのか示すなり、結論部分を明確に示してほしかった。
(60歳代女性福祉事業関係者)
- ⑥基調講演について、合理的配慮の必要性、実効果について良くわかりました。しかし、もう少し時間をかけて、丁寧に話してほしかったです。(60歳代男性自治体議員)
- ⑦野澤さんの講演、時間が短い。(70歳代男性障がい者・家族会)
- ⑧「基調講演の時間延長が望ましかった。(40歳代女性当事者の親族)
- ⑨基調講演の時間がもう少しほしいです。話の内容が盛りだくさんなのに時間が足りない感じでした。
(ボランティア)
- ⑩基調講演は内容の濃いものでわかりやすい。時間が足りなかったことが残念。
(40歳代男性福祉事業関係者)
- ⑪基調講演の時間が足りなかったように感じた。(60歳代男性民生委員)

【パネルディスカッションについて】

- ①パネルディスカッションが大変勉強になった。コーディネーターの野澤先生の進行・司会が大変良かった。(70歳代男性ボランティア)
- ②パネルディスカッションは多くの方来ていてすごいと思いました。一人ひとりの話をもっと聞きたいと思いました。進め方も大変と思いました。(40歳台女性行政関係者)
- ③様々な異分野の方の構成と発言内容がとても良かった。コーディネーターが素晴らしかった。
(70歳代男性福祉事業関係者)
- ④パネリストの人選がとても良かった。医師会の方の発言は前向きに取り組んでくださる姿勢がみられてよかった。(40台男性行政関係者)
- ⑤大変わかりやすかったです。自分にかかわりのある障害のことしかわかっていませんでしたが、聴覚障害(視覚障害?)の方の困りごとや考え方、ルピナスの方のやってらっしゃること、医師の方のご努力などいろいろな立場の方の話が聞けて良かったです。(50歳代女性ボランティア)

- ⑥様々な立場の方から現状の取り組みや課題についてお話をお聞きできたことは大変よかったです。当事者からの発信が大切とのことでしたが発信がむずかしい方とつねに接しています。その声をどのように拾い、具現化していくかを自分の立場でも考えたいと思います。
(40歳代女性教育関係者)
- ⑦パネルディスカッションのメンバーの中に障害者の方がいらっしゃることで生の声での話し合いにとっても実感が湧きました。(40歳代女性福祉事業関係者)
- ⑧パネルディスカッションの人选が良かった。地域協議会の立ち上げへの期待、「今回のメンバーが協議会ですよ」との野澤さんの発言に拍手。困難事例があるなしに関わらず必要だと思う。よき事例は前向きに紹介。(70歳代女性障がい者・家族会)
- ⑨パネルディスカッションは当事者代表から行政まで様々な分野の方から話を伺えたので良かった。
(60歳代男性民生委員)
- ⑩大変興味深く聴かせて頂きました。様々な立場の方から、それぞれの現場を知る機会となりました。
(40歳代女性福祉事業関係者)
- ⑪パネルディスカッションで各関係者の話が聞けたのが良かったのですが、当事者が1名だけでしたのもっと他の障害の当事者の意見も聞けたら更に充実したと思う。(50歳代女性)
- ⑫企業もパネリストに加えてほしい。(50歳代男性障がい者・家族会)
- ⑬八代さん以外のパネリストの2巡目の話が1巡目とあまり変わらない内容だったのが残念。広がりがありました。
(60歳代女性障がい者・家族会)

【フォーラム全般について】

- ①分かり易い話でした。(60歳代女性)
- ②基調講演の中で「差別とは、多数派が少数派の人達の困難さに気付かないから起きている」とのお話を伺って、個々の方々、それぞれのことに思いを寄せることの大切さを感じました。フォーラムの中でも、障がいのあるパネリストの方のお話しで、健常者が当然のように感じていること（常識）でも障がい者の視点から見ると不十分であるということを知り、お互いが理解し合う努力をすることが大切だなと思いました。(60歳代女性障がい者・家族会)
- ③大変勉強になりました。意識改革になります。(60歳代男性障がい者・家族会)
- ④市の中の動きとして、提案的な発言がありましたので、もっと具体的で施策的な話もお聞きしたかったです。また、野澤さんのお話、とても参考になりました。
- ⑤具体的な話があって良かったです。自治体も頑張ってください。(60歳代女性ボランティア)
- ⑥要約筆記者の基盤として、まず心得ておくべきことを改めて教えて頂き、本当に素晴らしい内容でした。パネリストのメンバーも良かったです。一親として「教育」というキーワードが響きました。教育委員会の先生もいらしていたので是非現場（学校）に行かして頂ければと強く思われました。(40歳代女性要約筆記者)
- ⑦ありがとうございました。日常の民生委員としての活動に参考にさせていただきます。
(60歳代女性ボランティア・児童発達支援通所事業者)
- ⑧民生委員として、本年障害者部会の長をさせていただくことになり、年間の事業を考え中です。今日の内容を参考にさせていただきます。後半の八代さん、浅川さんの具体的な話は非常に参考になりました。

した。行政各位の話は、今後、開かれていくであろうと考えられました。教育が大切である。安心して受けられない子供を生むリスクが大きくなると思います。女性の出産年齢が上がり、収入が少ないなど、全部が関係してくると思う。(60歳代女性福祉事業関係者)

- ⑨所属する団体として何をすべきかが分からなかったので出席した。概ね何をすべきかが理解できた。良かったと思う。(60歳代男性医療関係者)
- ⑩今日学んだことを生かして、支援活動に積極的に取り組んでいきたいと思います。支援活動に携わる者への立場からのお話も聞きたいです。(50歳代女性要約筆者)
- ⑪開催団体長の挨拶が無かったのは何故、団体としてのPRをしっかりとされた方が良いのでは。時間もったない、15分の休憩は長過ぎでは。講演、パネルディスカッションは内容が充実していて久しぶりに真剣に聞いた。次回は認知症？(70歳代男性障がい・家族会)
- ⑫座間でも開きたいです。(60歳代女性障がい者・家族会～座間市在住～)

【障害者差別解消法について】

- ①障害差別解消に向けた課題について理解・認識を深めることができました。一人でも多くの人に障害者差別の解消、合理的配慮について周知、啓発し、議論を広めていくことが大切だと思います。次は参加体制を高めてほしいと思います。((60歳代男性自治体議員)
- ②差別解消法は基本的人権のスタートに過ぎないということ、周知啓発の重要性、障害者の方の声を聞き、実情を知る努力が必要であると感じました。人として何が正しいかという心をもてるように各現場、地域で共通の理解を作っていくことが必要だと思う。(40歳代男性市議会議員)
- ③さまざまな場面で考え、取り組むことが必要と感じる。(50歳代女性行政関係者)
- ④障害者差別解消法についての周知・啓発が、まずは大切だと思います。(60歳代女性医療関係者)
- ⑤一般の人が関心を持つ、理解していくのは難しいと思った。(40歳代女性福祉事業関係者)
- ⑥法律は出来たからと言って、急には変わらないとわかりました。まず、障害者の方が困っていることをしっかり聞いて、少しずつ合理的配慮がすすむと良いと思います。
(50歳代女性行政関係者)
- ⑦人間は差別から逃れることはできない生き物だと思います。ただ、学校教育での必要性は感じます。同調圧力がありますが、多種多様な人が生きていることを認められるようになる社会を大人が作ることが大切なのではないでしょうか。(40歳代性別不明福祉事業関係者)
- ⑧合理的配慮の内容と必要性について良く理解できました。配慮を特別に考えるのではなく、自然に出てくる社会が望ましいと思います。そのために小中学校からの教育の大切さを感じています。
(50歳代男性障がい者・家族会)
- ⑨この差別解消法を実施していくのには、担当の職員の増員が必要ではないかと思われます。特に学校教育・医療機関は特に必要だと思います。(70歳代女性障がい者・家族会)
- ⑩当事者でありながら「障害者差別解消法」が奥深く、個々のケースが多すぎて理解するのが大変難しく思います。それぞれの立場によって違ってくると思います。
(60歳代女性障がい者・家族会)
- ⑪障害者差別解消法や合理的配慮についてのお話が聞けて良かったです。家族や支援者が一緒になって障害者の不便さを代弁してあげないといけないと思いました。差別解消支援地域協議会の存在を

はじめて知りました。難しい内容の話でしたが野澤先生のお話が楽しく聞きやすかった。

(40歳代女性障がい者・家族会)

- ⑫要約筆記者として差別解消法、合理的配慮について一応知っているつもりでしたが詳しい話を伺い改めてその内容を再認識することが出来、良かったです。(30歳代男性要約筆記者)

【障がい問題全般について】

- ①今後も地域で暮らす障がい者がどんどん増えると良いと思います。(50歳代女性医療関係者)
- ②理解しようとする社会になってきて大変良かったと思います。障害のある人達が生きやすい世の中は皆が生きやすい世の中になるのではないかと思います。(70歳代女性障がい者・家族会)
- ③今現在私達の娘は脳性マヒで現在65歳になりました。その為に介護保険の通知が今年になって役所から来ました。今までは親の扶養のもとで生活しております。65歳介護保険は月5,000です。でも考えると父親が89歳になっていて先が見えています。親が死亡した後の事を考えるとそんな介護料金やヘルパーなど使用したいとなった時、その負担の事が一人になった時を考えると障害の娘を残して先に死んではいけない、後の事を考えると夜も眠れなくなってしまいます。障害者支援ということなら障害者最後まで安心して暮らして行けるような、何年か前までは介護保険の事を考えないで暮らせたのに。(80歳代女性)

- ④相模原医師会の土屋様へ

障害者手帳の不正取得をなくす事、とても大切だと思います。不正取得がまかり通れば正しく取得している大多数の人たちまで社会から疑いの目で見られてしまいます。よって、もし「私は耳が聞こえません」と言っている方に、「本当は聞こえているんじゃないの？」と問い詰めるような、行き過ぎた検査が行われたら、聞こえない人は自分を疑っていると感じたり、聞こえない子供は深く傷つくかも知れません。言うまでもないことだとは思いますが当事者の気持ちに配慮しつつ、障害者手帳交付の適正化の取り組んでいただきたいと思います。よろしくお願いします。

(30歳代男性要約筆記者)

【提案・要望】

- ①学校教育で障がいを理解させよう。(60歳代男性障がい者・家族会)
- ②各方面の話が聞けて良かった。行政窓口自体が、障害者にとっての高い壁にならないようになっていくように望みます。(女性ボランティア)
- ③障害者にとどまらず“差別”というのは、地域地域どころか日本、世界の問題だと思う。人間社会から拭い去ることの出来ないことのように思いますが、ごくごくささやかなことから始めて、法律化によって少しずつ定着することを望むばかりです。PTAの会合とか、大学のゼミとか、一般の社会人の何かの集まりとか、青色申告会のご商売の方々とかでもこうした話を沢山して、広めるよう、役所に希望します。(80歳代女性ボランティア)
- ④こういったテーマを取り上げていくことはとても重要だと思います。当事者の方はもちろん支援者、一般の方も興味を持ってもらうために継続してもらいたいです。

(30歳代男性児童発達支援放課後ディサービス)

- ⑤このような活動を継続して行ってほしい。また、このようなフォーラム、講演会を増やして、い

ろいろな人たちに知って頂けるようにやって頂けたらなお良いと考えます。

(40歳代男性福祉事業関係者)

- ⑥合理的配慮が出来るような機器の提案を全国から受付けてはいかがでしょうか。高齢者・障害者向けに川崎市の「かわさき基準(利用者にとって最適な福祉製品のあり方を示した川崎市の独自の基準)」のようなものです。「ロボット緑区」の相模原市ならではの提案を収集してみているでしょうか? 「障害」だけでなく社会的弱者向けの提案望みます。

(50歳代女性福祉事業関係者)

- ⑦合理的配慮という事はとても難しいと感じました。企業内で障害者を雇用した際、合理的配慮の対策に行き詰ってしまう事もあり、その時に企業側が相談できる場がほしいと思いました。あれば教えてほしいです。差別解消を民間企業に対して訴え続ける必要があると思います。

(40歳代女性手話通訳者)

- ⑧根気がいる PR と地域のリーダー育成が住民の理解促進を促すことになります。自治会、公民館、児童・民生委員への教育を兼ねて、各拠点に PR、講演をしてみたらどうでしょうか。私の自治会にも啓発講演を依頼したい。今後、防災の取り組みも大きな課題と感じています。

(40歳代男性福祉事業関係者)

- ⑨今回のパネラーの4月以降の活動内容、施行後、実際どのようなことに取り組むようになったか知る場を設けていただきたい。(60歳代女性福祉事業関係者)

- ⑩ボランティアとして映画に字幕や音声ガイドをつけたバリアフリー上映会に携わっています。つい一昨年、そして音声ガイドを流すための視聴覚ライブラリからの機器を借りることが出来ず、市民活動との協力体制をもっと求めたいところです。

(60歳代女性ボランティア・児童発達支援通所事業者)

【その他】

- ①認定調査について知りたい。医療セミナーに参加したい(精神疾患の対応)。

(60歳代女性民生委員)

- ②息子が発達障害で今は高1です。卒業後、進学か就職か、大変悩んでいます。また、親亡き後の生活する場もとても不安です。そのあたりの情報もまた教えて頂きたいです。良い事例を集める話、とても共感しました。(40歳代女性福祉事業関係者)

- ③「明日はわが身」今日かも知れませんが、とすれば「相手はわが身」、これは“障害”にかかわらず、常に他を思いやるイマジネーションで安心、円滑なコミュニケーション、生活が営めることにつながるのだろうと考えます。違いがあって当たり前。自他ともにおとしめない、認め合う、尊重しあう。コーヒーとベーグルパン対串カツ、“自由”の趣旨が違うでしょう。欠食児童 睡眠不足、アメリカの子供の貧困家庭での状況があるからコーヒーとベーグルを用意したのでしょうか。日本の大学の授業中に飲食 OK は全く次元が違うと思います。節度のない人間が育つ温床になる、甘やかしにつながる。学生には飲食しない自制心が求められると思います。空腹なら PX なめるとか、クッキーをこっそり食べるとか、それくらいがかわいげがあるし、「食べていい」を推奨するのは本末転倒というか間違っている。だから串カツまでエスカレートするのでしょうか。空腹で集中力なくなるとしても、満腹又は消化中は血液が胃袋に回って頭に流れにくくなりやはり集中力ダウンするのでは?どちらにしても生活

を整える努力が先、もしくは並行して行われるべきと考えます。タクシーの遠回りは障害者に限らない。好事例交流、必要ですね（50歳代女性一般）

④野澤さんの手話通訳の話で思い出しました。手話通訳の必要性。中国では言語が200もあるそうです。「官吏」と云う言葉、現在は日本でも中国でも役人、官僚の意味です。語源は官も通訳、吏も通訳で、二種類の通訳であった。一人で200もの言語を対応できないのは当然です。会話の難しさが良く理解できました（意思疎通の難しさ）。（70歳代男性福祉事業関係者）

⑤講演の力ということだろうが書物（文字）で得られる知識よりも生の言葉（声）で知ること出来るのは単なる頭の知識とは違い、心（気持）に残りやすく思える。（60歳代男性障がい者・家族会）

以上